

第 6 回会議の意見交換まとめ

令和 7 年 7 月 2 9 日（火）
第 3 6 期新潟市社会教育委員会議（第 7 回）



第 6 回会議で出た意見

（Aグループ：こどもの多様な居場所づくりのための社会教育人材ネットワーク）

＜前回までの意見交換及び講話を受けた課題選定＞

- ・ どこに住んでいても「居場所」にアクセスできる状況を確保できるように
公共施設の整備等が進んでいない地域を整理して建議としてはどうか。
- ・ 部活動の地域移行（地域展開）が課題と感じているのでテーマとしたい。
- ・ 社会教育施設の活用を中心に、市が補助すべき事項一覧を作成してはどうか。
- ・ 地域の状況にあわせて様々な課題に向き合うことも必要だが、
まず新潟市として最低限の質を担保するよう動いてほしいと提案したい。

第6回会議で出た意見

(Aグループ：こどもの多様な居場所づくりのための社会教育人材ネットワーク)

＜前回までの意見交換及び講話を受けた課題選定＞

- ・学校によっては校区が広く、自転車で30分程かけて通学している。
冬場はスクールバスを運行している場合もある。
その場合、地域クラブへの移動手段も課題となるが市で検討はされておらず、地域任せになっている。
- ・地域クラブでは資金面や指導者確保や質の課題があるが地域任せになっている。
- ・地域クラブ活動の団体リストはあるが、種類が限られている。
例えば、青年会の活動に参加して地域芸能に携わることも受け皿の一つではないか。
- ・コミュニティ協議会との連携を強化し事業をすることで、こどもの居場所も多様に展開できる。

第7回会議に向けて

(Aグループ：こどもの多様な居場所づくりのための社会教育人材ネットワーク)

〈まとめ〉

- ・論点を整理し、建議に盛り込む内容を確定する。
- ・こどもの居場所確保のため社会教育施設の活用や部活動の地域展開について、現状を整理する。
- ・居場所として機能させるために市が補助すべきことを一覧にまとめる。
- ・地域クラブ活動について、移動手段・交通の面についても整理する。
- ・地域クラブ活動の団体リストがより幅広い分野のリストとなるよう、垣根を超えた情報共有を進め、バリエーション展開を提案する。
 - ・こどもの居場所という視点から社会教育施設について理念を整理する。
 - ・居場所をテーマに論点を整理・確認する。
…地域活動の視点、地域資源の視点を提案

第6回会議で出た意見

(Bグループ：生涯学び活躍できる社会教育人材ネットワーク)

<建議記載内容の共有>

- ・次のとおり、4章仕立てとする。
 - (1章) 第5回の「社会教育人材ネットワークについて」をテーマに埼玉県の事例を講話いただいた内容を受け委員自身が感じたこと等
 - (2章) 文部科学省で示す狭義の社会教育人材だけでなく、地域で実際に活動している方々に活動やネットワークの必要性についてヒアリングした内容
 - (3章) 公民館・図書館の職員が抱えるニーズや課題の調査結果について
 - (4章) 社会教育委員が実際に感じている「ネットワーク」について

第6回会議で出た意見

(Bグループ：生涯学び活躍できる社会教育人材ネットワーク)

<ヒアリング候補の検討(小委員会)>

- ・次回会議前後に小委員会等を開催し講師をお呼びしてヒアリングを実施することとした。

候補1：NPO法人ふるさと未来創造堂

→7月25日(金) 15時から Zoomにてヒアリング実施が決定

候補2：にいがたまちあそび学校「KAIKOU!」

→7月29日(火) 13時から ふるまち庁舎にてヒアリング実施が決定

第6回会議で出た意見

(Bグループ：生涯学び活躍できる社会教育人材ネットワーク)

<ヒアリング候補の検討(視察)>

- ・次回会議前後に視察に出向きヒアリングを実施することとした。

候補1：異人池建築図書館喫茶店

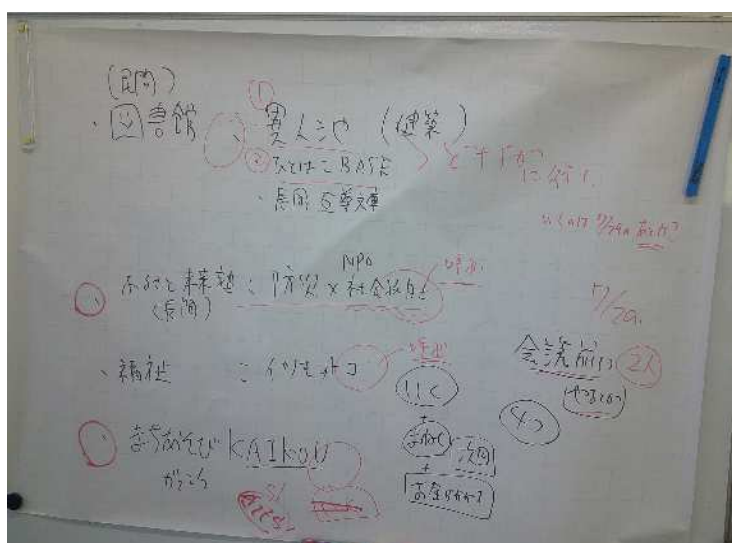
候補2：みんなの小さな図書館ひとハコBase

候補3：NPO法人新潟ねっとイツモノトコ

⇒委員2名～3名で視察ヒアリングを実施予定

第6回会議で出た意見

(Bグループ：生涯学び活躍できる社会教育人材ネットワーク)



第6回 Bグループ板書

第7回会議に向けて

(Bグループ：生涯学び活躍できる社会教育人材ネットワーク)

〈確認事項〉

- ・ **小委員会**の**ヒアリング**内容の共有、実施後の意見共有
(NPO法人ふるさと未来創造堂・にいがたまちあそび学校「KAIKOU!」)
- ・ **視察**先への**ヒアリング**事項等の確認
- ・ 新潟市の社会教育関係課（生涯学習関係課・美術館・博物館）所属の全職員を対象に実施中の「新潟市内における社会教育人材のネットワークに関する**アンケート**」の回答内容の共有
※回答期間は、7月15日（火）～8月15日（金）

今後のスケジュールについて

〈建議等の作成〉

- ・ **第8回**会議（令和7年10月予定）から建議作成開始
- ・ **第9回**会議（令和8年1月予定）までに原案を作成
→ 会議にて内容の確認・修正等を協議
- ・ **第10回**会議（令和8年2月予定）
 - 開催の1週間程度前には原稿完成
 - 会議前半：最終確認⇒**建議完成**！
会議後半：任期2年間の感想・意見交換など。
主に、任期満了の委員より
今後の社会教育委員会議についてのご意見等発表。

※前半の最終確認で
重大な修正事項があった場合は、
事務局で回収・修正のち、
2月末には修正版を完成予定

今後のスケジュールについて

〈建議の構成イメージ〉 ※第35期建議を参考にしたもの

- ・はじめに
- ・目次
- ・第1章 生涯学習・社会教育をめぐる状況（国の動向、新潟市の動向）
- ・第2章 先行事例から学ぶこと・それを受けて委員自身が感じたこと
（第5回会議講話「社会教育人材ネットワークについて」より埼玉県の事例や、
島根県社会教育人材バンクについて）
- ・第3章 社会教育関係課所属職員へのアンケート「新潟市内における社会教育人材の
ネットワークに関するアンケート」結果のまとめ
- ・第4章 地域の活動団体へのヒアリング内容まとめ（ニーズの確認、エッセンスを知る）
- ・第5章 こどもの居場所という視点から、社会教育資源のネットワーク構築及び活用の上で
留意すべきこと（部活動の地域展開の現状と課題・今後の提案、委員の意見）
- ・第6章 社会教育委員へのインタビュー（各分野から見たニーズ等）
- ・おわりに

今後のスケジュールについて（再掲）

〈提出〉

- ・教育委員会への提出は、令和8年3月の教育委員会定例会を予定

〈報告〉

- ・第35期は建議策定後に教育委員と社会教育委員との建議報告会を実施しました。
今期も3月教育委員会定例会開催日に報告会を設ける予定
- ・令和8年度新潟県社会教育研究大会（秋頃予定）において事例発表の割り当てあり。
第36期の建議等を報告していただく予定です。
第36期委員の任期満了後となりますが、あらかじめ皆様の中から発表者を選任させて
いただければと考えております。